

2002年2月20日

東京外国為替市場委員会第51回会合議事録

開催日時	2002年2月19日 13:00～15:00
場 所	日本銀行本店新館9階大会議室
議 長	住田 知正 (東京三菱銀行)
副 議 長	小林 和成 (ステート・ストリート銀行)
副 議 長	花井 健 (日本興業銀行)
書 記	西川 広親 (日本銀行)
参加委員数	15名 (別紙)

I. 委員選任の件

住田議長 (東京三菱銀行) より、川鍋委員 (JP モルガン・チェース銀行) が辞任する意向を表明したと報告されました。これに伴い委員の公募を行ったところ、下記の立候補者があったことが報告されました。

松野 行雄 (JP モルガン・チェース銀行)

また、野手委員 (三井住友銀行) の委員としての任期 (2年) が満了したこと、および、野手委員から再任のために立候補する意思が示されたことも併せて報告されました。

これに伴い、各立候補者について、提出書類に基づく審査、立候補者の所信表明を経て、委員による投票が行われ、全会一致で両名ともに選任されました。

委員選任後、運営小委員会 (2月14日開催) からの提案に基づき、松野委員が E-commerce 小委員会委員に就任することが承認されました。

II. 運営小委員会報告

前回会合および運営小委員会 (2月14日開催) における決定に基づき、当委員会の運営について小委員会所属・各委員より以下の報告があり、討議が行われました。

(1) 緊急時安否確認訓練

西川書記 (日本銀行) より、緊急時を想定した電話連絡網による委員の安否確認の方法が提案され、承認されました。これを受け、2月27日 (水) にこの方法による安否確認の訓練が行われることが承認されました (午前10時)。

(2) Orange Book(Code of Conduct)改訂の件

Model Code 小委・中島小委員長 (スタンダード・チャータード銀行) より、Orange Book(東京市場における Code of Conduct)改訂作業の段取りにつき、以下の報告・提案があり、提案

はいずれも了承されました。

- (1)改訂の手順としては、まず①Model Code 小委の作業結果に基づく改訂、次に②NY 市場委 Code を参考にした改訂、最後に③ACI Model Code の随時改正分との擦り合わせ結果に基づく改訂、の順番に作業を進める。但し、④電子ブローキングの普及に伴って必要と思われる改訂については、E-コマース小委員会が現行の電子ブローキング関連部分を大幅に拡充するため作業に当初から取り組むこととする。
- (2)Model Code 小委を改編し、Code of Conduct 小委を設置する。新小委は Model Code 小委のメンバーを引き継ぎ、作業計画と役割分担の策定および進捗管理を担当する。
- (3)改訂作業は、全委員参加体制で行うこととする。

(3) 綱要見直しの件

加藤小委員長より、1997年に制定された当委員会の修正につき、以下3点についての修正を行うことが適当である旨が報告されました。これらの点を踏まえた改定を行うことが提案され、了承されました。

- (1)法改正等に伴う技術的な語句修正
- (2)委員選出プロセス(委員公募制)に言及
- (3)現在は限定配布の扱いとなっている本会合議事録を「一般に公表する扱い」に修正

(4) 海外市場委とのリレーション強化関連

西川書記より、海外市場委との連携強化に取り組む一環として、3月14日に同氏が韓国銀行のソウル市場委担当および市場委メンバーと面談し、交流の可能性を探ることが提案され、了承されました。

(5) ミドル・バックオフィス関連アドバイザーグループ

加藤小委員長より、米国同時多発テロ発生時にNY外為委においてバックオフィス・スタッフから成る小委員会(Operational Group)が市場の安定性確保に大きく貢献したこと、およびロンドン FXJSC においても同様のグループを立ち上げる動きがあることが報告されました。これを踏まえ、当委員会における対応案が提案されました。

これを受け、「当委員会で議論する案件の性質によってはバックの専門家からアドバイスを受けることが必要であるが、常設の小委員会とするほどの需要はない」「必要に応じ当委員会として意見を聴取できる専門家を事前に特定しておくことは有益」「バックだけでなくミドルのグループも重要」といった意見があり、次の通り必要に応じて meeting を行い本委員会の諮問に応える非常勤型アドバイザーグループ (Advisory Group) を

設置することが提案されました。

- ①バックオフィス（決済関連）、ミドルオフィス（マーケットリスク管理関連）の有識者による Advisory Group を組織する。
- ②両グループは、当委員会から諮問のあった事項につき、必要に応じ会合を開いて検討し、委員会へ回答、提案を行う。
- ③Advisory Group の会合には、関係小委員長と執行部代表者が参加する。
- ④Advisory Group メンバーには、必要に応じ、本委員会出席を依頼。
- ⑤両グループのメンバーの選任については、各委員が適任者を推薦し、所属金融機関の負担に関するバランス等に考慮して、当委員会から正式に委嘱する。

（６）金融機関の合併・統合に伴う委員選任について

邦銀の再編によって外為市場で活発に取引を行っている銀行が減少していること、および委員の所属金融機関内相互の再編が予定されていることを踏まえ、委員の所属する金融機関の扱いにつき、討議が行われました。

主な意見は以下の通り。「持ち株会社型の再編の場合、子会社の市場への参加実態に応じて決定すべき」、「現在の一金融機関につき委員は一名という原則を維持した場合、所属金融機関相互の合併の度に易因数が減少し、委員会活動に支障をきたす恐れがある」、「当委員会への参加は個人の資格によるボランティアなものであり、必ずしも同一金融機関からの就任を妨げるものではない」、「信託、地銀等に所属するディーラーにも参加を呼びかけることは有益」等。

以上を踏まえ、以下の諸点が合意されました。

- ①所属機関は候補者の貢献可能性を測る一つの目安に過ぎず、あくまでも候補者個人の力量が重要であり、所属機関が自動的に立候補を排除するものではない。
- ②最終的には選挙によって決めるべきものであり、立候補の如何は本人に任せることとする。
——貢献の可能性や、所属機関のサポート体制については選挙時に質問して判断。
- ③現任委員の所属機関以外のディーラーの立候補を促す方策を検討する。

Ⅲ．各小委員会からの報告

各小委員会より、活動状況について以下の通り報告がありました。

（１）E - コマース小委員会

野手小委員長より、2月26日開催予定の、NY外為委による電子ブローキングフォーラム（於 NYFed）に、日本銀行 NY 事務所員が参加し、その模様を本委員会にフィードバックする旨、報告がありました。

また、これに関連して居村オブザーバー（東京三菱銀行）より、ロンドン FXJSC より、電子ブローキングの現状につき、2つの側面（①顧客と金融機関の関係に及ぼす影響、

②セキュリティに関わる問題) からリサーチを始めた旨、連絡があったことが報告されました。

(2) T+1 小委員会

小林小委員長 (ステート・ストリート銀行) より、以下の報告および提案があり、提案は承認されました。

- ①同小委作成のレポートの素案が完成した。
- ②委員による十分な検討期間をとるため、最終的な、当委員会による **endorsement** は次回会合 (3 月 26 日) で取得することを目指す。

(3) NDF 小委員会

稲村小委員長 (シティバンク) より以下の通り報告がありました。

NDF 取引に関するアンケート結果を受けて、機関投資家等における関心の高さにも拘らず、本邦で NDF が使われていない理由について、個別ヒアリングを開始した。概要は以下の通り。

- ・顧客からの需要に関わらず、投信が直接に NDF を利用することには、以下の問題が存在。
 - ①現行法制のもとでの経理事務負担の重さ (NDF は、投信法における特定資産として、第 3 者機関による価格調査と、契約毎の運用報告が必要であるなど、通常の為替と比べると経理上の負担が膨大)。
 - ②時差の存在に、定まった契約書フォームが無いことに伴う処理の繁雑さが加わり、時間内に事務処理することが極めて困難。

(4) CLS 小委員会

市川小委員長 (富士銀行) より以下の報告がありました。

(a)CLS 導入に伴うボイスブローカーの実務的な疑問点および要望につき、ブローカーにより提示された下記の項目に関し小委員会メンバーで検討している段階。

- ①CLS 参加に関する情報のブローカーへの通知
- ②CLS 参加行同士の取引における決済
- ③フロントからの照会 (CLS か非 CLS かの確認) に対する対応の必要性
- ④ネーム相違等が発生した際の対応
- ⑤ブローカーコンファメーション発信の時間制限
- ⑥コンファメーション上のペイメント表示
- ⑦夜間、東京休日の取引

(b)小委員会がこれまでの検討結果をまとめつつある「CLS 導入に当たっての諸考察」の内容を見直すとともに、次回本会合にて同資料の第 1 稿を提出する予定。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(2月19日現在)

<委員>

議長	○住田 知正	(東京三菱銀行)
副議長	○花井 健	(日本興業銀行)
副議長	○小林 和成	(ステート・ストリート銀行)
兼 T+1 小委員長		
書記	○西川 広親	(日本銀行)
運営小委員長	○加藤 博光	(野村証券)
広報小委員長	川添 豊	(ハークレイズ銀行)
教育小委員長	○今井 雅人	(UFJ 銀行)
法律問題小委員長	○金上 孝	(三菱信託銀行)
E コマース小委員長	○野手 弘一	(三井住友銀行)
CLS 小委員長	○市川 亨	(富士銀行)
NDF/CFD 小委員長	○稲村 秀彦	(シティバンク)
Model Code 小委員長	○中島 尚彦	(スタンダード・チャータード銀行)
	○石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	○神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
	○伊藤 一雄	(トウキョウフォレックス上田ハーロー)
	○松野 行雄	(JP モルガン・チェース銀行)

<オブザーバー>

	○野口 嘉彦	(マネー・フローカース・アソシエーション)
	○川添 敬	(日本銀行)
	○居村 元	(東京三菱銀行)
	○加辺 猛	(日本興業銀行)

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。